

## 平成27年度第1回花巻市立図書館協議会 会議録

○日 時 平成27年6月25日(木) 午前10時00分～午前11時35分

○場 所 花巻市立花巻図書館 会議室

○出席者 (1) 委員

小山田厚委員、市川浜委員、門馬優子委員、高橋則子委員、日下明久美委員  
坂本知彌委員、佐藤三恵子委員、白藤祐三委員、佐藤寧委員(計9人)

(2) 図書館長

佐々木昭司花巻図書館長、多田広美大迫図書館長、小原茂隆石鳥谷図書館長  
菅野和東和図書館長

(3) 事務局

城守敏浩花巻図書館副館長兼管理係長、吉田郁子主任主査兼業務係長  
菊池桂石鳥谷図書館主査

○欠席者 2名(和田政男委員、佐々木さつき委員)

○傍聴人 なし

### ●次第及び協議内容等

- ・会議に先立ち、佐々木昭司花巻図書館長から小山田厚委員に委嘱状を交付
- ・会議成立の報告(城守花巻図書館副館長兼管理係長)
  - ・委員11名中8名出席(佐藤寧委員は遅参)。出席委員が構成員の過半数を超えているので、図書館協議会規則第7条により本会議が成立することを報告。

### 1 開会(城守花巻図書館副館長)

### 2 会長あいさつ(坂本知彌会長)

みなさん、おはようございます。昨日まで暑かったと思ったら、今日はムシムシする  
るいよいよ梅雨入りかという感じです。図書館の建物の進展もいまいちと思っておりますが、  
中身の充実が図られれば良いと思っております。みなさまのご協力どうぞよろしく  
お願いいたします。

### 3 議題(協議会規則により会長が議長となる。)

#### (1) 平成26年度花巻市立図書館事業実施状況について・・・資料1

- ・平成26年度花巻市立図書館事業実施状況について、花巻図書館から順番に説明。  
花巻：吉田主任主査、大迫：多田館長、石鳥谷：小原館長、東和：菅野館長
- ・平成26年度決算について城守副館長から説明。

#### (質疑)

(坂本知彌会長)

説明ありがとうございました。今までのところでご質問ありませんでしょうか。東和の仕掛け絵本の展示のところ、萬美術館からお借りしたということですが、仕掛け絵本だから自分で触ってみたいとおもしろくない。壊れませんでしたか。

(菅野東和図書館長)

大丈夫でした。職員がよく目の届くところに展示しているので、必要があれば、一緒にお世話しました。

(坂本知彌会長)

仕掛け絵本はなかなか高価なので、個人では買えないので、学童クラブでも買っています。でも、壊されるのが怖くて、なかなかみんなのすぐ手の届く所ではなく、貸し出しをするようにしているんですけど。壊れなければいいなあと思っています。良かったですね。

(菅野東和図書館長)

良かったです。萬美術館から5点借りましたが、壊した時は弁償してくれという条件でした。

(坂本知彌会長)

仕掛け絵本は、なかなか修理が難しいですね。

(菅野東和図書館長)

外国絵本でした。

(坂本知彌会長)

外国の仕掛け絵本はおもしろいが多いですね。

(菅野東和図書館長)

色も鮮やかで好評でした。

(坂本知彌会長)

石鳥谷さんも東和さんも、おもしろい企画がいっぱいあるんですけど、事前のPRはどんな方法をとっているのでしょうか。図書館に行かなければ、今度は何があるかというのがわからないという内容でしょうか。

(小原石鳥谷図書館長)

一般的には市の広報誌を使っただけの周知、最近ではホームページを充実してホームページ上で少し内容を紹介しています。

(坂本知彌会長)

行きたかったなあと思うものが何件もありました。

(小原石鳥谷図書館長)

2月の協議会でもご指導いただきまして「実はすごい 地域の匠展」というので、4月から振り返り展ということで、昨年度やったものを展示しております。6月からは新規で「おそばの匠展」をしております。

(菅野東和図書館長)

東和の広報も石鳥谷と同じですが、東和には有線放送がありますので、普及率も結構高いので1週間くらい前から広報していると、何かやっているらしいということで来てくださいます。

(坂本知彌会長)

そうですね。人口の割にすごい見学率というか、参加している人が多いですね。

(菅野東和図書館長)

あとはチラシを学校とか対象に応じて、できるだけ早めにと心がけているのですが、1ヶ月くらい前になります。学校さんには、いつもご協力をいただいてコマースルしていただいております。

(坂本知彌会長)

人口の割には、見ている人が多いなあと思いました。他にございませんか。

(門馬優子委員)

花巻、石鳥谷、東和では県立図書館の巡回展をやっていますが、大迫ではやったのに載せていないのですか。

(多田大迫図書館長)

大迫ではやっておりません。

(門馬優子委員)

できれば大迫は距離的にもハンデがあるので、できれば4館ともそういう機会を設けていただきたいと思います。

(菅野東和図書館長)

「お酒と食文化」というのは好評で、26年度中に回り切れずに27年度に繰り越しました。花巻は26年度に回れましたが、東和と石鳥谷は27年度に繰り越しとなりましたが、県立図書館は申し込みをすれば、何とか調整がつかます。

(多田大迫図書館長)

それでは、検討したいと思います。

(坂本知彌会長)

他にございませんか。

(白藤祐三委員)

12ページの分類別蔵書数ですが、大迫図書館の郷土・行政の分類が21.1%と非常に高い比率なのですが、主にどのようなものが郷土・行政資料としてあるのか。比率が高いのはどのような理由なのですか。

(吉田主任主査)

大迫図書館では、前の館長などが大迫町史の編纂をされていて、その町史編纂室にあったものがそのまま図書館に来ました。そういうこともあって郷土資料が充実しています。それから岩手県内の報告書、あと埋蔵文化財センターの本も充実していますので、花巻ほどではありませんが、他の図書館よりも多いと思います。また、神楽の資料も充

実しています。

(多田大迫図書館長)

全体の冊数が少ないので、確かに割合的には高くなっています。

(坂本知彌会長)

他にございませんか。それでは次に進んでよろしいでしょうか。

## (2) 平成27年度花巻市立図書館事業計画について・・・資料2

・平成27年度花巻市立図書館事業計画について、花巻図書館から順番に説明。

花巻：吉田主任主査、大迫：多田館長、石鳥谷：小原館長、東和：菅野館長

・平成27年度予算について、城守副館長から説明。

### (質疑)

(坂本知彌会長)

ただ今、平成27年度花巻市立図書館の事業計画と予算について、説明がありましたがこれについてご質問ありませんでしょうか。

(佐藤寧委員)

各館で映画会をやられていますが、今、映画会というのはフィルムではなく、DVDとか、ブルーレイをプロジェクターによって見せるという形なのですか。

(吉田主任主査)

どちらも、16ミリフィルムをまだ使っております。16ミリフィルムの場合は、映写機の技術講習会を受けて免許がなければなりません。昨日、ここで8の方が受講しましたが、今もやっております。

(佐藤寧委員)

映写機の環境というかライブもなくなっていると聞いていますので、フィルムの良さを伝えるためにも、見に行きたいくらいなのですが、ぜひ続けていてもらいたいと思います。

(吉田主任主査)

16ミリフィルムは、126本有りましてまだまだ使えます。最近は結構高額ですので、購入はできませんが、人気のアニメなどは結構多いので、どうぞご活用ください。

(佐藤寧委員)

東和図書館でも、タイマグラバあちゃんもフィルムでやるのですか。

(菅野東和図書館長)

今回は、DVDを借りることにしました。監督さんがいらっしゃるか、まだ不安でしたので。自分が行くなら16ミリと言っていたのですが、DVDをお願いしました。

(坂本知彌会長)

他にございませんか。

(白藤祐三委員)

今、話題になっている新刊の図書、神戸殺傷事件の「絶歌」の取り扱いはどうなっていますか。

(佐々木花巻図書館長)

マスコミでかなり話題になっておりまして、その取り扱いについては現在まだ検討中です。県内の状況等、あるいは県立図書館も情報収集しておりますが、県立図書館も現在検討中という状況のようです。東北でも、6月24日現在では所蔵はしていないという状況にあるようです。皆様もテレビ等でもご覧になっているわけですが、図書館協会の会長さんがコメントを出しております。各館の公立図書館の判断であろうというコメントを出しているようですが、当市につきましても、県内の市立図書館の状況等、確認しながら取り扱いについては、検討していきたいと思っております。

(坂本知彌会長)

他にありませんでしょうか。それでは、次の(3)のその他に移っていいでしょうか。

### (3) その他

#### ①来館者アンケート調査結果について・・・資料3

・佐々木花巻図書館長から4月18日(土)から5月17日に市立図書館4館で実施した利用者アンケート調査の概要を資料3により説明した。

#### (質疑)

(坂本知彌会長)

アンケートについてのご質問ありませんか。

(日下明久美委員)

まずは事前に資料を配布していただきありがとうございました。結構ボリュームがあるので、会議前に目を通すことができ良かったと思います。アンケートのことですが、回答者の数が館によって、随分バラツキがあると感じました。調査の仕方、働きかけの仕方など、どのように取り組みましたのかお聞きしたいです。

(佐々木花巻図書館長)

取り組みの方法について、なかなか徹底されない部分があったのかなあと反省しております。来館者の方に見えるように、アンケート調査のご協力依頼の表示をしたり、アンケートボックスを置きましたが、手渡しというところまでした所も有るかもしれませんが、業務に追われて声掛けまでできなかった部分もあるのかなあと思っております。アンケート調査をするうえでの対応について、ちょっと不徹底といえますか、対応についてバラツキがあったと思っております。

(市川浜委員)

この満足度の数字を見て、総じて「良」とするかなんですが、スタッフの対応についてほぼ多くの方が満足している。職員の方が一生懸命仕事にあたっていると改めて敬意を表したいと思えますし、数字が10となるように、さらに努力をしていただきたいと

思います。さらに、このアンケートを通じて、今できるものからと思いますが、総じて一言でいうのは難しいと思いますが、どんなふうにお考えですか。

(佐々木花巻図書館長)

総じてというお話でございますが、気づかされたのは、今やっているリクエスト制度が知られていないとか、ベビーカーの貸し出しとかもやっているのですが、知られていない。そういう表示なり説明がされていないのかなあと気づかされました。そういうところはすぐにでも対応できる部分です。図書館が好きで図書館にいらっしゃっている方に書いていただいたアンケートだと思っているので、確かにそういった読みたい本が不満だという意見が多々あるわけですけど、リクエスト制度があるということ、他の図書館からの相互貸借という制度があることをPRしていく必要があると思っております。総体的にやっていることの情報を利用者の方にわかるように、説明や表示が必要であると感じました。

(佐藤寧委員)

記述集計のところでは何点か各図書館で、映像ソフト、DVDとか音楽ソフトをもっと長く貸してほしいとか、新刊を新しいものを入れてほしいとか、文庫本を入れてほしいとか。特にDVDだと巷に貸ソフト屋との兼ね合いもあり、著作権の問題もあります。図書館の立ち位置としては、新刊が出たらすぐというのもちょっと違うのではないかと。やっぱり入手しづらい結構定評のあるものを常に市民に貸せるというスタンスが大事だと思うので、あまり、すぐ消えるようなものは置かなくても良いのじゃないかというのが私の考えです。全国的にみて図書館で置く映像ソフトとか音楽ソフトの選考基準みたいなものはどうなのでしょう。

(佐々木花巻図書館長)

専門的な部分についてはわかりませんが、いろんなライブラリーもそうですが、所謂図書館で一般の人に貸し出ししている視聴覚資料については、専門の担当者を選定をお願いしておりますが、レンタル屋さんではないというのはそのとおりですし、協会などで推奨する物のデータなども来ておまして、その中から選択する形は全国的に同じなのかと思います。

(白藤祐三委員)

アンケートの集計表で非常に興味深いものがある、良い意味で評価されている部分もある。それから現実的な課題もかなり含まれていると思います。それから象徴的なのは、「図書館とは、その町の文化の水準を映し出している。」これが非常に象徴的な回答だと思います。それと同時に、新しい図書館に対する希望とか意見があっちこちに入っておりますので、これが一般的な図書館の利用者の希望だというふうにとらえて、何とか反映させていただきたいと改めて思います。

(坂本知彌会長)

他にございませんか。

(佐藤三恵子委員)

先日、借りたい本があって、その本は岩波文庫で売られているのですが、昔は良かったこと「ちびくろサンボ」のように1回無くなったのですが、また出ています。「小さなせむしの少女」というお話が入っているという資料を読んで、「不思議なオルガン」という本を買ったら、そのお話が無く、何年か前に版を重ねるときに、「小さなせむしの少女」というお話が世の中の差別から割愛しましたということでした。でも、読みたいということで菊池桂さんに探してもらったら、兵庫県にありました。そういうふうの本というのは残しておく、図書館は貸し出すだけじゃなく、残していく役割もあると思います。県立図書館にも同じ物がありましたが、閲覧だけ、コピーも半分だけでした。それで兵庫県から相互貸借で貸してもらって読んだのですが、所蔵する、貸し出しする、新刊本を揃えてほしい、予約待ちだからいっぱい買ってほしい、早く読みたいということにも応えていかなければならないと思いますが、本当に後の世代の人たちが読みたい、必要だと思うような本を残しておくというのも図書館のお仕事なのだと感じた出来事でした。

(坂本知彌会長)

そうですね。本屋さんとの兼ね合いもあると思うのですね。それから出版業界が非常に困っているということです。図書館とどう競合していくかということもありますよね。新刊ばかり買うというのも図書館の役割ではないと思いますので、そのへんのところをどうぞよろしくをお願いします。他にございませんでしょうか。それでは次に移っていいでしょうか。それでは、②図書館サービスの内容検討状況についてお願いいたします。

## ②図書館サービスの内容検討状況について・・・資料4

・佐々木花巻図書館長から、ア移動図書館サービスについて、平成25年度の市内の状況及び県内8市の実態調査の結果と今後の取り組み及び具体的な計画について、イ学校・保育園・幼稚園・学童クラブとの連携について、平成25年度の市内の状況及び県内8市の実態調査の結果と今後の取り組み及び具体的な計画について資料4により説明した。

(質疑)

(坂本知彌会長)

ただ今の説明について、ご質問ございませんでしょうか。

(佐藤寧委員)

ただ今の説明を興味深く拝聴いたしました。介護老人施設、ご高齢の方への取り組みに非常に注目したのですが、実際、アルツハイマー病という病気、認知症のポピュラーのものですが、知的活動をするとう発症が下がるといわれています。チェスとか本を読んでいる人はかかりにくい。全くそういうことがない人はかなり発症率が高くなる。図書館で介護相当の方たちに、遅いかもしいのですが、読書により発症を遅らせる。多

分統計的にみると良い方向に出るのではないかと思いました。あとは、私の病院にかかっている患者さんで、デイサービスに大多数の方が行かれますが、デイサービスに行く  
と風呂に入ったり、みんなでゲームをしたりするのですが、知的活動をしてきた方が非  
常に物足りなくて、行きたくないとおっしゃるんです。幼稚園みたいでたまらないとい  
うことで、拒否して行かない人もおります。デイサービスでもうちょっと知的な活動が  
できるように図書館の本を読めば救われると思って非常にすばらしい視点であると思  
いました。ぜひ頑張ってくださいと思います。また、もうひとつ学校への取り組みで  
すね。実際、子どもの読書を増やすのは難しいと思います。親の問題もありますし、な  
によりも学校の先生が忙しくて本を読んでいません。1年に1冊も読んでいない先生も  
います。先生方は忙しくて自分の知性を磨く時間がないのです。そういう方々が子ども  
に本を読めと言っても説得力がないのです。親も本を読みません。ハード面で図書館が  
関わるのは非常に良いのですが、ソフト面でどうしても何かが足りないまま社会が動い  
ているという気がしています。ぜひ頑張ってくださいと思います。

(坂本知彌会長)

医療の現場からのとても的確なお話で良い方向に行くのではないかと思いました。

(高橋則子委員)

私も今、先生のおっしゃったことに同感でございます。私は、紙芝居を持って行って  
読み聞かせをしています。非常に認知症の方々に表情が行って帰るあたりには、ボヤ  
っとしていたのが、ハキハキとしてくると感じます。ぜひ、どんな本でも字の大きい  
とある程度絵があるのと昔読んだことがある本と組み合わせさせていただくと皆さん元気が  
でると思います。だから、移動図書館車のようなものをぜひ集団貸出みたいなもので、  
たくさん的人数がいるわけでないで、町ごとに何施設か指定して今年あたりやっ  
ただけたらと思います。花巻の介護施設では、テレビを見させておく事業所が多いん  
です。テレビを見せれば満足しているんだろうと思っています。そうではないと思  
います。ぜひ、今年度は取り組んでいただきたいと思います。それからもうひ  
とつは、学童クラブです。花巻と大迫が不十分のようですので、ここも開拓していただ  
いて、学童クラブの子どもたちにも、もっともっと本を読んでもらいたいと思  
います。

(多田大迫図書館長)

大迫小学校では、個人にも貸し出ししています。多分学童クラブの子どもたちは、そ  
のまま持って行きます。学童文庫だけではなく、個人貸出もしているので、今のところ、  
学童クラブに貸し出ししておりません。

(高橋則子委員)

学童クラブの子どもたちに読み聞かせをしてもらいたいと思います。今みんなゲーム  
やテレビですし、人の声を聴くという時間がないみたいですので、学童クラブで読み聞  
かせをしていただくと、子どもたちも質も変わってくると思います。

(佐藤寧委員)



昨夜ですが、矢沢地区のPTA地区懇談会で「メディアと脳」と題して講演をしてきたのですが、テレビとかゲームですね、あとソーシャルネットと子どもたちとの医学的、統計的なデータですが、実際、読み聞かせすると子どもたちの言葉を覚えるスピードが飛躍的に伸びます。テレビを見る時も親と一緒に見て会話しながらやると知的には良いというデータがありました。

(坂本知彌会長)

子どもも大人も高齢者もそうですね。

(佐々木花巻図書館長)

ちょっと補足させていただきます。現在、行っております移動図書館車は、全然老人施設を回っていないというわけではなくて、例えば石鳥谷のデイサービスとかJAグリーンホーム石鳥谷や八重畑デイサービスに既に行っております。東和は東和のデイサービス、今そういう施設がどんどん増えている状況にあるので、市として全体的に今やっていることをお伝えしながら、どのような要望があるのかを把握できたらと思っております。

(菅野東和図書館長)

東和では、老人施設全部に視聴覚ライブラリーの案内と、移動図書館車と文庫を利用できますという案内を春に配り、映画会の開催と出張映画会もできますという案内をしましたら、定期的に毎月やっている施設が1施設、冬場の感染症が心配な時季は出前でやってくれと言われて行っているところが1施設というふうに、施設にそれなりのゆとりがあり、これは良いと思ってくれたら、取り込んでもらえそうです。ただ、働きかけでも、そういうことをやれるゆとりはありません、職員も場所もありません、図書館に行くにも足がありませんと言われて門前払いのところもありました。でも、映画会の案内は、懲りずにできる都度、案内を届けてお話をしております。

(坂本知彌会長)

他にありませんか。

(高橋則子委員)

さっき佐藤三恵子委員さんがおっしゃった古い本もぜひ図書館に置いてほしいという話もありました。宮沢賢治の伝記は最近いっぱい次々と出てきているんですが、昭和30年代に岩波書店で出した最初の宮沢賢治の伝記の内容と今出ている伝記の内容と違うんです。それで、本当に30年代に出たのは、花巻の様子が詳しく賢治との関わりが詳しく出ているのです。こういう本は、いつまでも欲しいものだと思って図書館に行って探してみても、今そういうものは無いということで、新しいものしか無かったのですが、たまたま見つけたので持っていました、やっぱり地域に関わりのある本というのは、古いものでも価値のあるものだと思いますので、貸出禁止になるのですが、ぜひ貸出禁止の枠がちょっと広がったら良いと思います。

(坂本知彌会長)

どうしても大事な本はありますので、保存は心がけてほしいと思います。

(佐藤寧委員)

先ほどの岩波少年文庫の本ですが、出版社に「リクエスト復刊」というものがあって、声が大きいと出版社によって復刊してくれます。ただ、岩波はちょっと左寄りで差別に厳しいので、岩波では絶対復刊はしません。ただ、今、ネットオークションとかで、結構入手しやすくなったりします。今、ネットショッピングで結構見つかったりしますので、ためしに「復刊リクエスト」をしてみると声が大きいと出版社も動く場合がありますので、探してみるのも良いと思います。

(坂本知彌会長)

ただ今は、情報もいただきました。

それでは、4 その他に移りたいと思います。

#### (4) その他

特になし。

#### 5 閉会 (城守花巻図書館副館長)